



広島県緑化センター メールマガジン VOL. 285 H27. 1. 29



遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

先日、二十四節気の大寒を迎えました。大寒は一年で最も寒さが厳しくなる日ですが、逆に言えば、これからは暖かくなっていくということです。春を告げるウメやアセビなどの花芽も少しずつ膨らみ始めています（写真1）。

★ 見どころ情報

ソシンロウバイ（素心蠟梅）ロウバイ科ロウバイ属（写真2）

中国大陸原産の落葉低木で、文字通り、蠟細工のウメの花に似ているため名付けられました。また、蠟月（旧暦12月）に開花することに由来するという説もあります。わが国では観賞用に庭園や公園樹、切り花として利用されますが、原産地では蠟梅花という名の生薬として、乾燥させた花を煎じて飲用します。普通のロウバイは花弁が黄色で、花芯が暗紫色を帯びます。対してソシンロウバイは芳香が強く、花全体が黄色を帯び、ロウバイよりやや大形です。

場所： 管理事務所前、苗畑

ヤマコウバシ（山香し）クスノキ科クロモジ属（写真3）

別名モチギ、ヤマコショウとも呼ばれる落葉低木で、山林内に自生します。枝を折ると良い香りがするので名付けられました。冬芽（写真3左）は大きく、クロモジ属唯一の葉と花が一緒に入った混芽で、4月に開き始めた葉の間から花柄を数個のぼし、黄色い小さな花を多数咲かせます。同属のダンコウバイやアブラチャンの冬芽（写真3右）と見比べれば違いがよくわかります。雌雄異株ですが、日本には雄株が無く、雌株のみで結実します。昔の非常食でトロシバとも呼ばれ、若葉を乾燥させて保存し、熱湯で戻して食べていました。秋に葉が枯れても枝に残るため、受験に「落ちない」縁起物として、手作りのしおりのお守りを管理事務所で1人1枚配布しています。

場所： 東山作業路沿い、第2駐車場向かい、他山林内

その他の開花情報等

開花	サザンカ、カンツバキ、十月桜他
結実	クロガネモチ、タラヨウ 他

（低温のため道路が凍結する日があります。冬用タイヤをお忘れなく。）



写真1-1 トサミズキの花芽 (多目的広場) H27.1.29



写真1-2 ミツマタの花芽 (管理事務所横園路沿い) H27.1.29



写真1-3 アセビの花芽 (見本園) H27.1.29



写真1-4 ウメの花芽 (管理事務所横園路沿い) H27.1.28



写真2 ソシンロウバイ (苗畑) H27.1.29



写真3 ヤマコウバシの葉と冬芽（第2駐車場向かい） H27.1.28